

第2回仙台市情報モラル教育推進会議 概要



1月5日（木）、仙台市教育局第1会議室において、第2回「仙台市情報モラル教育推進会議」を開催しました。第2回となる今回は、教育局職員、仙台市中学校長会、仙台市PTA協議会の代表8名の委員と2名のアドバイザー（学識経験者）により、「仙台市情報モラル教育推進事業」の進捗状況を確認しながら、今後の取組について協議を進めていきました。

協議は、まず、「家庭における推進検討部会」の取組から行われました。事務局から、保護者向けの啓発リーフレット作成についての報告があり、各委員から、今後に向けたリーフレットの改善点や活用方法について意見が出されました。

アドバイザーの先生方からは、家庭で使用する啓発資料の内容としては、情報機器の長時間利用の弊害についての説明が大事であること、情報提供の形態などを変えながら随時新しい情報を提供していくことができるよう努めること等について助言を頂きました。

また、活用方法については、PTA事業としての研修での活用法を検討していく必要性について助言を頂きました。

続いて、「学校における推進部会」の取組について協議が行われました。事務局からは、部会メンバーの先生方による情報モラルの授業の実施状況を踏まえ、『(仮称)〔仙台版〕情報モラル教育実践ガイド』を今年度中に作成し、学校現場に提示することについて説明があり、各委員から、情報モラル授業の様子を保護者にも知らせていくことや、実践ガイド作成の方向性について意見が出されました。

アドバイザーの先生方からは、教材の所在や利用場面を紹介しつつ授業化のポイントについてガイドしていくことの大切さについて助言を頂きました。

また、情報機器の活用が進んでいない環境において、情報モラル教育だけを推進しようとしている教育委員会では情報モラルが浸透しないこと、活用とルールを守ることは同時に指導されるべきことについても助言を頂きました。

最後に、全体を通して意見交換が行われ、教育委員会として、戦略的に新しい学習指導要領に対応するよう、情報モラル教育と同時に、条件整備を行っていかねばならない時代に向かっていること、そのような中、学校と家庭及び関係団体が連携し、情報モラルに関する保護者の啓発活動や学校での授業実践を推進していくことの大切さを確認し、会議を終えました。